

わたしのまちの

島本町 SHIMAMOTO CHO

# 風物詩

## 竹の魅力を後世に伝える ～「かぐや姫の夕べ」と「どんど焼き」～

島本町は面積の約7割が山岳丘陵となっており、広い範囲で竹林が茂っています。今回ご紹介するのは、この竹をテーマにした行事で、「島本竹工房」というボランティア団体の皆さんの手によって行われているものです。

毎年8月に、「島本町ふれあいセンター」内の滝と小川の流れる広場で『かぐや姫の夕べ』が開催されています。これは、500基余りの竹灯籠を設置し、夕暮れ時の幽玄な雰囲気の中、地域の皆さんにクラシック音楽や雅楽演奏を楽しんでもらおうというものです。会場内では、併せて竹細工品の展示なども行っています。



また、1月には、桜井地区において『どんど焼き』という伝統行事が行われます。田んぼの中で、青竹を長尺のまま組み合わせて稲わらをかけ、正月に使った門松やしめ縄、書初め等を燃やします。この行事は無病息災や五穀豊穡を祈るもので、戦後長い間行われていみせんでしたが、平成14年、約50年振りに復活しました。また、残り火を使って竹串に挟んだ餅を焼き、集まった人たちに配られます。



これらの行事は、元々は竹資源の有効活用のために始められましたが、現在では、生涯学習の場、住民のふれあいの場として、地域の特色ある文化として根付いています。

本町にとって里山は貴重な財産であるため、これらを後世に伝えようと、住民と行政が互いに協力しながら、積極的な保全活動を進めています。

今後、『かぐや姫の夕べ』や『どんど焼き』などの地域の行事を通じて、住民の皆さんが竹の魅力に触れ、お互いのコミュニケーションの場として活用されるとともに、里山保全の意識が培われる場となることを期待しています。

### ● お問い合わせ先 ●

島本町総合政策部政策推進課

TEL : 075-962-5411

FAX : 075-962-0385

E-mail : seisaku@town.shimamoto.lg.jp